

2015年12月14日
株式会社みずほ銀行

【FinTech】みずほ銀行 × freee
「freee 金融機関アドバイザーアカウント（β版）」を活用した
企業のお客さま向け新サービスの検討開始について

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）は、freee株式会社（代表取締役：佐々木 大輔）が提供する「freee 金融機関アドバイザーアカウント（β版）」を活用した新しい金融サービスの検討を本日より開始します。

「freee 金融機関アドバイザーアカウント（β版）」の活用は、「クラウド会計ソフトfreee（以下、「freee」）」のユーザーの同意を前提として、ユーザーが保有する各種データを様々な角度から分析することで、会計および金融の両側面から、「freee」ユーザーをはじめとした企業のお客さまに対する新たな総合コンサルティングサービスの創出、提供に結びつけることを目的としています。当行は、経理・会計業務に一層寄り添った新しい決済サービスや、リアルタイムで入手できる会計データを活用した貸出支援等を検討していきます。

みずほ銀行は、今後も先進的なIT技術を持つ企業との連携に積極的に取り組み、企業のみなさまによる創造的な営業活動に貢献する利便性の高いサービスの創出、提供に努めていきます。

<freee 金融機関アドバイザーアカウント（β版）の概要>

「freee（※1）」ユーザーが希望する場合に限り（※2）、当該ユーザーが保有する「freee」内のデータを金融機関共有することが可能となる金融機関向けのサービスです。

（※1）クラウド会計ソフト「freee」は、会計帳簿の作成に加えて、請求書作成、経費精算、領収書保存、売掛金管理、各種レポート作成などの機能が無料で使えるクラウド型会計ソフトです。

（※2）「freee」ユーザーが当行とのデータ共有に許諾することを前提とするものです。ユーザーの許諾無しにデータが当行と共有されることはありません。

以上